

者、皮厚而其味爲劣、

〔佐渡志^五物產〕秦椒 サンシヤウ

山野ニ多シ、雄ヲ花サンシヤウト云、雌ヲ實サンシヤウト云、延喜式ニコノ國ヨリ貢スル所ノ藥品ノウチ蜀椒見ヘタリ、今ノサンシヤウノコトニヤ、一種崖椒方言イヌサンシヤウハ食用ニタヘズ、

〔紀伊續風土記 物產^五〕秦椒^{サンシヤウ}本草、本名加波々之加美、醫心方古布之波之加美、京本延喜式クマ、新撰字鏡鹿椒、又伊太知椒本草和名抄ニ蔓椒の名とす、

延喜式典藥式に、紀伊國秦椒三升とあり、今諸郡に皆あり、中にも那賀在田兩郡の山中より多く出す、

竹葉椒^{フユサンシヤウ}本草、半斐郡に 各郡山中に自生多し

蜀椒^{アサクラサンシヤウ}本草、本名和名ニ布佐波、之加美、又奈留波之加美、延喜典藥式に、紀伊國蜀椒五升とあり、今各郡皆産すれども、

秦椒の如く多くはなし、

崖椒^{イヌサンシヤウ}本草 山胡椒^{ヤマカワバン}本草 右二種各郡山野に多し

〔倭名類聚抄^{十六}〕蜀椒 蘇敬本草注云、蜀椒^{音蕭}和名奈留波之加美、一云、不佐波之加美、生蜀郡故以名之、

〔箋注倭名類聚抄^四鹽梅〕本草和名云、和名布佐波之加美、不載奈留波之加美之名、今俗通呼山椒、按椒古單呼波之加美、蓋波之加美良之省、波之者謂翻花也、今俗轉呼波勢留、如熬稻粟令米翻花、名

曰波勢是也、加美良者、韭之古名、韭條辨之、椒子熟則罅坼翻花而核出、其皮味辛辣、與韭比、故名波

之加美良、省云波之加美也、神武天皇御歌所云、宇惠之波士加美久知比比久、即謂椒也、又鮠魚訓

波之加美字乎者、以是魚有椒氣也、是可以證單言波之加美者之爲椒也、後蓋自唐國至、其辛與椒

相埒、故名久禮乃波之加美、即吳椒之義、是菜爲人家常用、遂專波之加美之名、不復呼久禮之名、於

是別呼椒爲奈留波之加美、又爲不佐波之加美、其云奈留者、謂結實云、不佐者、爲房離離之謂也、本

蜀椒